

会 議 録

1 会議名

第1回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○ 自主的審議事項について

(2) 報告事項（公開）

○ 名立区における平成29年度の主な事業について

○ 名南保育園の廃止について

(3) その他の事項（公開）

3 開催日時

平成29年4月26日（水）午後4時から午後5時10分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：安藤安年、奥泉 稔、木村和子、草間照光、佐藤道子、高宮秀博、塚田正、徳田 幸一、原田秀樹、三浦元二、山口敏夫
- ・ 事 務 局：牛木所長、三浦次長（総務・地域振興グループ長兼務）、松永市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、竹内班長、佐藤主任（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【竹内班長】

- ・ 会議の開会を宣言。
- ・ 上越市の地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告。

【塚田（正）会長】

- ・挨拶
- ・所長に挨拶を求める。

【牛木所長】

- ・挨拶
- ・4月1日付人事異動に伴う事務局職員の異動があったため、新体制の職員の紹介をする。
- ・名立地区公民館における休日及び夜間のコピーについて名立まちづくり協議会と協議して、1枚10円で5月1日より対応可能になった件について報告。

【塚田（正）会長】

- ・事務局に資料の説明と会議録の確認者の発表を求める。

【竹内班長】

- ・資料の説明
- ・会議録の確認：安藤委員、奥泉委員

【塚田（正）会長】

- ・協議事項2－（1）「自主的審議事項について」が一番時間を要するため最後の議題とし、先に報告事項3－（1）「名立区における平成29年度の主な事業について」、3－（2）「名南保育園の廃止について」の順に事務局に説明を求める。

【三浦次長】

- ・資料No.1に基づき説明。

【松永市民生活福祉G長】

- ・資料No.2に基づき説明。

【塚田（正）会長】

- ・説明に対し委員に意見や質問を求める。

【奥泉委員】

- ・区総合事務所に予備的な予算は与えられているのか。

【三浦次長】

- ・総合事務所及び区内の公共施設等の緊急的な修繕や要望等に対応するため、総合事務所長権限の緊急修繕予算が130万円計上されており、そのうち100万円が配

当されている。残りの30万円については自治・地域振興課で13区分を確保しており、各区で予算が不足する場合に対応することになっている。

【三浦（元）委員】

- ・資料No.1に記載された事業は全てハード事業であるが、名立区に特筆すべきソフト事業は挙げてないのか。特に産業面のソフト事業において平成29年度の名立区の取組はどうか。

【三浦次長】

- ・ソフト事業としては、名立まつりの補助金665千円が地域振興事業費として、体育協会への補助金として305千円がスポーツ事業補助金として、観光協会への補助金として1,141千円、イベント交流事業補助金として110千円、水産関係については漁業研究会への補助金等、農業関係であれば名立区の中山間地域直接支払制度等が予算計上されている。

【牛木所長】

- ・産業面のソフト事業については、後日資料を提示する。

【塚田（正）会長】

- ・区民の関心が集まるような新規事業やソフト事業について報告するように。

【牛木所長】

- ・後日報告する。

【塚田（正）会長】

- ・議題2－(1)「自主的審議事項について」に入る。
- ・前年度は各々6人の委員からなる公共交通サービス検討分科会と高齢者福祉施設分科会の2つの分科会を設置して議論してきたが、分科会での協議内容を次の地域協議会で報告するよりも、全委員が集まる地域協議会で直接議論した方が良いという意見もあり、委員の皆さんの考えもいずれその方向になるかと認識している。
- ・自主的審議事項について、現状を踏まえながら区内の課題を6月まで議論し、6月に一定の方針を決めたい。
- ・奥泉公共交通サービス検討分科会長に先に開催した分科会の内容について報告を求める。

【奥泉委員】

- ・分科会で市営バスの運行について事務局から報告を受け、我々の意見を述べさせて

もらった。思っていたような運行形態ではあったが色々な問題が出てきたので、今後は全体的な協議の課題として議論していくべき。

【徳田委員】

- ・公共交通については色々な問題が出てきており、分科会形式にこだわらず議論していくべきであり、また、地域密着型介護老人福祉施設の「名立ひなさき」の開設に向けてあらゆる組織のバックアップを受けていかなければならないので、今年度も公共交通と高齢者福祉の2つの課題は名立区の大きな課題と考える。

【塚田（正）会長】

- ・高田公園では観桜会が盛大に開催されたが、各区にも桜の名所があり、各区の住民が桜を楽しんでいる。名立区も他団体（名立まちづくり協議会や名立観光協会など）とも連携しながら、桜の名所をPRし、観光振興を図っていききたい。
- ・4月28日に名立浜まつり、5月3日に鮮魚の青空セリ市が開催されるが、これらは大変歴史があり、非常に知名度がある。何か漁業関係での課題はないか。

【安藤委員】

- ・大潟区の地域協議会では、自主的審議事項の1つとして海の環境保全をテーマにしている。小泊地区は年1回春先に町内会長を中心として護岸の清掃活動を行っている。例えば、西の脇海岸の方は大町地区の方が定期的に清掃活動をしていると思うが、小泊地区からも参加者を募るといったように地域全体で有志が参加したら良いのではないかと思う。
- ・現在、名立の漁港は遊漁船が増え、大半は長野県、群馬県や関東方面の方々が乗船している。海岸には遊漁船客や釣り客が捨てたゴミが溜まり、漁港には迷惑駐車も多い。マナーの向上や海岸を綺麗にしようという意識を高めるために県外から来る客を巻き込んで清掃活動ができないか。また、キャンピングカー等の迷惑駐車や火気の使用についても注意できないか。

【塚田（正）会長】

- ・具体的な方法については、今後、色々な考えを聞きたい。
- ・今の話の中で、能生小泊地区の百川はサーファー等の利用者が定期的に海岸清掃活動をしており、地元と結びついている。

【安藤委員】

- ・遊漁船客も最近は遊漁船同士でゴミを集めて、業者に回収させている所が増えた。

【塚田（正）会長】

- ・原田委員は名立の100年後を創造する会の一員として地域活動支援事業を活用して、名立谷浜IC付近に水仙の花を植えてお客様をお迎えしようとする活動を継続しているが、何か課題はあるか。

【原田委員】

- ・櫻の会の事もあるが、合併して年数が経過し、様々な地域の振興を担う組織が少し疲弊してきており、うまく回っていないと感じている。
- ・地域で活動している方の負担があまりに増えてきており、何か考える時期にきているのではないか。
- ・上越市との合併で色々な物事が進んできたが、必ずしも当初の目論見通りにはいっていない部分があり、逆にそのようなことで地域の方々が頑張っている部分もあり、それらをトータルで話し合いできる機会はないかと考える。

【徳田委員】

- ・客観的な目で名立区の外を見ると徳合や桑取谷のNPO等の様々な活動が見えてくるが、名立区ではっきり目に見えるものは名立駅マイステーションの取り組みであり、櫻の会も道半ばで結果を出すまでには至っていない。やりたいことは分かっているが、立ち位置が多すぎる感じがする。

【塚田（正）会長】

- ・いきなり大きな目標を掲げるのではなく、現状を見ながら課題や解決方法を議論することから始まっていくのではないか。
- ・他に地域の課題はないか、高宮委員に発言を求める。

【高宮委員】

- ・我々の地域は不動森あげ米かいや不動を創る会等様々な組織があり、人数も限られた中で皆役員をやっており大変であるが、頑張っていて活動している。

【塚田（正）会長】

- ・木村委員に発言を求める。

【木村委員】

- ・先日、森町内で桜の観桜会が開催され、今年で桜は見納めかと皆で言いながら鑑賞した。

- ・市から町内で桜を管理するように言われると、皆もこの先不安があって、まあしょうがないかということになっている。春になって桜が見られるのと見られないのでは、気持ちが違ってくる。

【塚田（正）会長】

- ・今回は初回なので各委員から課題を出し、日があるので事務局や委員同士、あるいは分科会の中で議論して進めていければよいと考える。

【安藤委員】

- ・他県では、山から川が栄養を海に運び魚のエサとなっていて、山も海も全体として繋がっているということで漁師が山に行きブナ等の広葉樹を植林している。
- ・南葉山林道は、その奥にブナ林と不動山があるが、現在工事中で東飛山から先はほとんど閉鎖されている。閉鎖されている所から登山口まで徒歩で約2時間、そこから不動山の頂上まで約2時間30分と時間が掛かる。今の登山ブームで中高年も結構不動山に行っているの、せめて土・日曜日くらいは坂本弁護士の慰霊碑がある所くらいまで林道を解放し、有効活用すればよいのではないかと。

【草間委員】

- ・南場山林道は土砂崩れが多いため、補修工事も多い。そのため、我々も林道を自由に通行できるように毎年陳情しているが、いざ解放してしまうと市や地元が責任を問われてしまうことになり、どうしてもそこがうまく行かない。

【奥泉委員】

- ・事故が起こったら自己責任とはいかない。

【草間委員】

- ・そのようなこともあり、非常に難しい問題である。
- ・ブナ林も現在、森林組合が入って間伐等している。ブナ林は非常に広く、秋は非常に良い景観である。

【塚田（正）会長】

- ・ブナ林は上越市の水がめである名立川の水源である。
- ・昨年、地域活動支援事業のふるさと不動地区水源の森創造事業において講師を呼んで活動したが、そのような活動と漁業者が連携するのはどうか。

【安藤委員】

- ・そのような活動を浜の方にPRして一緒に活動するのが良いと思う。

【塚田（正）会長】

- ・先日、谷浜・桑取地区の地域協議会の高橋会長と、桑取川水系と名立川水系は共に上越の水がめなので下支えすべく皆で勉強していこうという話をした。
- ・初回なので深くは掘り下げることができなかったが、海岸環境の整備、地元と対象者の交流、合併後10年以上を経過し、地域の疲弊感が出ていているのではないかと、それぞれの立ち位置をもう一度見つめ直し、観光・産業等に繋げてみてはどうかという意見や、高齢化や人口の減少等により、組織が若干弱体化している現実の中、地元にある景観等の財産を大切にしながら、できるだけ自分達でやっていけないか、活動の継続を望むという意見がありました。これらを元に次回も議論したい。

【三浦委員】

- ・今回は自主的審議事項のテーマをどうするかということであり、地域の課題をどのように地域協議会の中で共通認識を持ち、取り組んで行くかということになると思うが、地域協議会としての組織の位置づけをしっかりと踏まえないと、道筋が見えないままの議論になってしまい実効性が出てこないのではないかと。
- ・今までの高齢者福祉施設や公共交通サービスの課題については明確な目標を持ち、それに向けて地域協議会としてどのように考え、発信し、実現するか道筋を見ながら取り組んできた。
- ・これまで話が出ている課題についてはもちろん次期の課題とすべきことであり、テーマと合わせ、地域協議会として、どう課題解決に繋げていくかの視点を考慮していかなければならないと思う。
- ・地域住民の皆さんで、名立区の各分野で活躍している団体の皆さんと連携しながら名立のまちの将来ビジョンを創っていくことがこれから必要になってくるのではないかと。

【塚田（正）会長】

- ・今日の審議は第1回目ということもあったが、範囲が広すぎるので細かく掘り下げてみたらどうかということで、これから名立という地域がどうなっていくのか、どのようにすべきかという将来のビジョンを創るのも大切ではなかろうか。そのためには現在活躍している各団体と連携しながら進めていく必要があるという提案があったが、それを含め次に進めるということで本日はこれで一区切りとする。

- ・議題は以上だが、その他この機会に何かあれば発言を求める。

【三浦委員】

- ・先程、徳田委員から名立ひなさきの施設整備について地域としてどう対応していくかという話があったが、それについては、名立区の住民福祉会で地域福祉施設応援隊という形で当分の間は名立大町地区が主体となり、今年度、一帯の環境整備や行事参加に取り組む予定である。近々、案内や協力要請のお知らせを出す予定。

【塚田（正）会長】

- ・4－（1）「平成29年度第2回地域協議会の開催予定について」地域活動支援事業の応募の状況等を含め、事務局に案の説明を求める。

【竹内班長】

- ・日時：平成29年5月27日（土） 午後1時から
- ・内容：地域活動支援事業の審査
- ・4月26日現在で名立区の地域活動支援事業の応募数は4件、事務局への事前の問合せを勘案すると応募数は10件程度になる見込み。

【塚田会長】

- ・議題は以上だが、その他として何かあれば発言を求めるも、なし。

【奥泉副会長】

- ・会議の閉会を宣言。
- ・挨拶

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 223）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。